

オシャナ州オングウェディバ見本市における日本文化紹介事業の実施 2018年8月26～28日



オングウェディバ見本市は、ナミビア各地で行われる見本市の中でも最大級で、今年は、国内外から450団体が出展、約8.5万人が来場し、日本の展示ブースにも幅広い年齢層の参加者が多く訪れた。



ムブンバ副大統領夫妻他政府要人も日本の展示ブースを訪問、書道体験や青年海外協力隊の活動ぶりを見学した。



書道体験・日本語で名前を書くサービス：大人も子どもの熱心に挑戦。自分の作品と記念撮影をする参加者も多くいた。



浴衣着付け体験。大人も子どもも、少し恥ずかしながらも興味津々で試着し、記念撮影をしていた。



法被も大人気。多くの人から買いたいとの希望が寄せられた。



日本の伝統的な遊び：箸でマメを運ぶゲーム。多くの参加者は初めて箸に触れ、苦労しながらも楽しんでいる様子が見えた。



凧作りワークショップ：

身近な素材を使って凧作り。凧を飛ばそうとする子どもたちが、混雑する会場を走り回った。





日本の伝統的な遊び：
けん玉、独楽。子どものみならず大人も挑戦。成功すると観客からも歓声があがった。



日本の伝統的な遊び：
折り紙教室。参加者は、紙が立体を成す様子を丸くして楽しんでいた。



日本の伝統的な遊び：
興味深げにいつまでも万華鏡をのぞき続ける子どもたち。

日本文化紹介・クイズ、観光案内の前、集客目的に日本の音楽を演奏すると、多くの人々が引き寄せられた。



日本文化紹介・クイズ、観光案内：
展示ブースにはあふれるほどの人が集まり、クイズに参加した。
まだまだ日本のことを知らない者も多い。



空手紹介：
空手は当地で最もポピュラーな武道で、大きな注目を集めた。



ナミビア各地で活躍する青年海外協力隊の活動紹介も行った。



アンケートに協力する参加者たち。



国費留学制度を含む日本留学案内、日本語 e ラーニングサイトの紹介、査証案内、JICA 事業紹介も実施。

